

令和 3 年度美祢市総合計画審議会 議事録

日時：令和 3 年 11 月 18 日（木）15：00～16：50

会場：美祢市民会館 2 階大会議室

	役職	団体名	氏名	出欠
1	会長	山口大学	田中 和広	
2	副会長	美祢市議会	竹岡 昌治	
3	副会長	美祢市男女共同参画審議会	小林 法子	
4		公募委員	磯部 浄子	
5		公募委員	井町 恵子	
6		成進高等学校	野原 政典	
7		山口県宇部県民局	山崎 晶子	
8		美祢市私立幼稚園連盟	青木 彩美	
9		美祢青年会議所	内海 盛宝	欠席
10		美祢市内郵便局	加藤 美智子	
11		山口県農業協同組合美祢統括本部	河野 一成	欠席
12		カルスト森林組合	高須 修三	
13		美祢郡医師会	竹尾 善文	欠席
14		美祢市商工会	内藤 正太	欠席
15		山口銀行美祢支店	稗田 裕司	欠席
16		山口新聞美祢支局	平岩 和也	
17		美祢市医師会	札幌 博義	
18		美祢市小中学校 P T A 連合会	松田 龍信	欠席
19		美祢市文化協会	松原 良子	
20		美祢市観光協会	山口 美津子	
21		美祢市社会福祉協議会	山田 悦子	

1 開会

～資料の確認～

2 市長あいさつ

3 委嘱状交付

4 会長、副会長の選出

会長に田中和広委員、副会長に竹岡昌治委員、小林法子委員を選出

5 議事

(1) 第二次美祢市総合計画基本計画の進捗状況について

(2) 第2期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

事務局：資料1～3、参考資料について説明

○会長 コロナという異常事態のもとで、うまくいくところもあれば、うまくいかないところもあるということで、今後に向けて、何か御意見を伺えればと思います。では、魅力の創出・交流の拡大で、ご意見があれば、いかがでしょうか。

○副会長 資料2の2ページ、最後のモンベルとの包括連携協定。実は議会でも12月末まで事業を延期したわけですが、その後の進捗状況はどのようになっていますか。

○事務局 モンベルと包括連携協定を結び、アウトドアを中心とするランドデザインを策定するという事業で、この12月末までに完成させるというところまで進んでいると思います。いまだ成果物は、こちらでも把握していません。12月までに進めていくという形のところまでは把握しているところです。

○会長 資料2の2ページの滞在時間の延長を図るというキーワード。要するに市内に長い時間いていただいて、お金を出していただくと理解したんですが。具体的な方策は？

○事務局 様々な体験型のツアーを組み込んで、秋吉台を見て終わりではなく、洞窟体験やセグウェイ体験などの体験ツアーなどで、ここに滞在される時間を増加させると伺っています。

○会長 時間を長く滞在することによってそれだけお金が落ちるってことです。私もそのほうが重要だと思います。去年、県内の宿泊施設の宿泊者が、全国で山口県だけが増えたそうで、県内から県内へ旅行者が多かったと聞きました。修学旅行も、隣の県に行くのではなく県内で済ましていると。ただ、そのときでも美祢市は通過するだけで、秋吉台で自然を満喫して、サファリランドに行き、下関の温泉に泊まる。たくさんの方が来ることは結構ですが、ただ見て帰られると困るので、ある程度滞在してもらって、なおかつお金を落としてもらうことが大事だと思います。あと、お土産や特産品とか、ノベルティグッズが、美祢市は圧倒的に少ないと思うので、そこも含めてお金を落としてもらうためのいろんな工夫を。まずは滞在してもらおう。また、滞在するためのイベントも必要ですし、施設も必要。滞在するための場所も必要だし、滞在してもらおうのであれば、何か買って頂くことも大事なかなと思いました。多分、コロナのこの時代の観光客の動きは、今までと全然違うと思います。その辺も分析されて、今後ポストコロナになると、全国からお客さん来ますけど、コロナ時代はコロナ時代でどういうサービスをしたらいいかということも、考えられたほうがいいんじゃないかと思いました。意見ですけど。

○事務局 ありがとうございます。また、担当部署のほうには申し伝えておきます。

○委員 観光施策で長く滞在としても、ホテルがないことが1番のネックじゃないかと思います。唯一あったホテルもなくなりましたし。時間や経費がかかる問題ですが、原点に帰られて、何が1番の原因か考慮されたらいかがでしょうか。それがなくなるとお土産を売ることもできませんし、お金を落とすということもできませんので。

○会長 おっしゃるとおり。以前はホテルの1階のところに土産物売り場ありました。ああいうものがない。博物館ができればミュージアムショップをつくって、そこで販売できると思うんですけど。いずれにしてもまず泊まる所がないっていうのはいかがですか、将来はどうお考えですか。

- 事務局 ホテルが廃業されていることはかなり影響があると認識はしています。担当課もいろいろ活動を実施していますが、今のところ、皆様方に御報告できる状況にはありません。ただ、ホテルが必要だという認識は、強く持っていますし、担当課も動いているところです。
- 会長 ぜひ御検討をいただいて、具体的にぜひ動いていただければと思います。こんないい所ない。秋吉台上に行く間にたくさんの廃屋がございます。その一部をうちの大学のクラブの後輩が、リノベして、洞窟探検をする人たちに開放しているんです。ちょっとした工夫だと思います。持っておられる方との交渉事も分かりませんが、ぜひ、進めていただければと思います。
- 委員 資料2の11ページのジオパーク推進事業です。1回目の再認定の時は、一緒に世界を目指そうということで、大分盛り上がったと思うんですが、今後、再認定の審査に向かって、世界もということだと思んですが、コロナのせいもあるかもしれませんが、何となく下火に感じています。また、職員配置にしても、教育委員会の局長と課長が兼務と、そこに本当に力を注いでいるのかなとちょっと感じます。世界を目指すのであれば、その体制をしっかりした形で対応していただきたいという意見です。
- 事務局 再認定に向けて本市も動いていかなければいけないと認識しております。歴史民俗資料館など計画的に整備をしておりますけれども、組織についてのご意見は担当課に伝えておきます。いずれにしても、再認定に向けて本市として取り組んでいきたいと考えています。
- 会長 ちょっとやっぱり特色を出さないといかんかなという気がするんです。この前も障害者の方に秋吉台の自然を楽しんでもらいたいというシンポジウムをされたと聞いております。また、スポーツ観光、体を動かすようなアクティビティにも、取り組んだらどうだろうと。特色を出すことが大事。素材は超一級だと思いますので、あとはそれをどう見せるかだと思います。先ほどお話ありましたように、あのときの勢いをもう1回。次の申請はいつ頃ですか。
- 会長 いや、今すぐ答えられなければ結構ですけど、計画を立ててやっていくためには、ある程度スケジュールも大事だと思います。目標を立てて進めていただければと思います。
- 会長 よろしいでしょうか。それでは2番目の強みを活かした産業の振興に対して、御意見をいただければと思います。
- 副会長 資料として、恐らく用意はされていると思うんですが、農業所得、できれば生産量ではなく所得の数値が。できれば例えば米、野菜、果樹、畜産そうした細部の資料があるのか、ないのか。推移がどうなってるのか。それから、もう一つは、六次化の問題ですが。施策評価にも美祢市の加工場のことが書いてあったんですが、私はほとんど加工場がないと見ているんです。したがって、第一次産業である農業の産物をどのように加工しようとしておられるのか。それからもう一つはですね、有害鳥獣。これらの被害状況も恐らくみておられると思うんですが、駆除をしても増え続けている実感です。最近頻繁に国道、鉄道も含めて、鹿や猪と事故起こしているみたいです。うちの息子もこの猟期に入って1人で12頭捕ったんですが、一向に減ったような気配がない。増え続けているような気がします。その一つは処理場がないんです。したがって、捕っても始末ができない。そんな状態が続いてれば、取っても、減らないと思います。その辺の処理方法の把握をされてるかどうか。あわせて、ジビエ対策をどのように考えていらっしゃるのか。
- 事務局 まず1点目、農業所得の状況ですが、その数字は現在把握していない状態です。ただ今御指摘のところにある、担い手の確保やハードの整備など、農業振興を行う中で、いかに農業所得に、皆さんの収入に反映できるかっていうところを担当課は考えております。そうすると、現状がどうであるかというところも分析した上で、どう反映してるかというのは大事だと思います。その辺りの数値を把握しながら、担当課にも伝えていきたいと思

ます。次の2点目の加工所の関係です。現在美祢市におきまして、加工所といいますと、虹工房と味の館が加工所に位置づけられておるところでございます、こちらの指定管理の施設でJA様に受けていただいている状況です。実態は今現在はそういう状況です。

- 事務局 補足説明をさせていただくと、今、加工所については、今のところ私どもで把握はしておりませんが、本市において、有害鳥獣対策としてどのくらいお金を使っているかと言いますと、令和3年度で6,700万円、有害鳥獣対策で使っています。この財源の中には、山口県からの補助金も入っておりますけれども、それぐらいの規模のお金をですね、使って有害鳥獣対策をしておる状況でございます。しかしながら、先ほども副会長からお話ありましたように、駆除しても駆除しても増えている。JRにも鹿が入ってきたりという課題があるというのは、私どもも認識しておりますが、なかなか追いついていない状況です。併せて申し上げますが、先ほどのジオパークの再認定の件でございますけれども、令和5年度に再認定をするということで考えています。具体的にどういふことをやろうとしているかといいますと、県の補助事業を使って、旧大嶺炭田周辺の整備等に取り組んでいます。また、歴史民俗資料館の研究活動の展示部分の見直しをして、御指摘をいただいた改善をしていこうという形で取り組んでいます。
- 会長 加工所、要するに六次産業化をするときの加工して流通に乗せて全国にと、そういう意味での加工場がないんじゃないかというお話で、説明の加工所もあるのかも分からないですけど。そういう意味かなと私は理解したんですけど。今後、六次産業化を増やしていこうとすれば、当然、作るだけじゃなくて、加工して製品化して送り出すというところまでやってだと理解するんですが。副会長の話によると美祢市にはないんじゃないかと。
- 副会長 今日、農協の本部長さんが来てないから話ができないですが。農産物、資源開発をするということは、私はやはりオープンにしていく必要があると思います。そうでないと美祢市に広がっていかない。例えば、今からこの近辺を見てもらったら分かると思います。ゆずが沢山なっていますが、収穫する人がいない。加工する所もない。しかし、お隣に行きますと、もう沢山ゆずきちが植えてあります。それを買って加工している所があるからなんです。買って取ってくれば農家も収穫できる。それからメニューをオープンメニューにしたらどうですかということです。加工してテストをしようとしてもシェアキッチンが美祢市にはないんです。だから、確かに有害鳥獣に6,700万かけてるのはいいんですが、多少でも減ってるんならいいんですが、増え続けてるっていうのが現状だろうと思います。その辺は把握してあるのかどうかということと、その対策をどうしようと考えておられるのか。お尋ねをもう一回したいと思います。
- 事務局 まず有害鳥獣の被害につきましては、こちらの資料1の2ページの2番森林の保全・活用と林業の振興の3段目、有害鳥獣の被害額で、令和2年が23,467千円と、前年度に比べると若干下がっている状況です。これは農地の被害額で、実態として、イノシシとか鹿がどの程度減っているかということとはまた違うことにはなるかとは思いますが、先ほど課長が申したとおり、一定のレベルで整備をした効果が出ていることも事実でございます。加工所にどうつなげていくかということころは、また、そういった御意見を踏まえて、担当課と協議していくということで御理解いただければと思います。
- 会長 獣害被害につきましては山口大学共同獣医学部があって、県内のいろんなところから何とかしてくれっていう要望がくるんです。抜本的に考えないと、副会長がおっしゃるようになんていってどんどん増えていくと思うんです。だから、ある意味、研究分野になるのか分からないですけど、ぜひ本気でやっていただけるといいと思います。ぜひ大学を活用されたいと思います。
- 会長 あと、私から一つ。資料2の20ページに県央連携中枢都市構想。この中で、美祢市として、ビジネスマッチングすると書いてあるんですけど、全体構想の中で美祢市はどのように位置づけられているんですか。みんな同じことをやるわけじゃなくて、分担しながら、こ

ここではこれを、観光はここでと多分そういう積み上げがされていると思うんですけど。その中で美祢市がどういう役割を果たすのか、どういうパーツを担っているのか。その主張すべきところは主張しながら、県央の中で美祢市の役割を明確にされて、計画を立案されてはいかがかと思いました。

○事務局 山口県央連携都市圏域がどういう市町で構成されているかと申しますと、山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、そして津和野町となっております。このうち、山口市と宇部市が、連携中枢都市、中心になる都市という位置づけになります。また、構成する市町として、本市を含めた5つの市町が構成団体として入っています。先ほど会長からもお話ありましたけれども、この圏域の中で都市圏域ビジョンを定めて、同じ方向で共有できるものに取り組んでいます。令和4年度から新しいビジョンをつくりましますけれども、これにつきましては、それぞれ今おっしゃったように、観光について山口市等々とつながっているのが1番見えやすいと考えております。ただ、それだけではなく、共通の課題について取り組んでいこうというのが今の状況でございます。

○会長 この連携を利用して、ぜひいろいろ主張していただけたらいいんじゃないかなと思います。

○会長 それと資料2の22ページに、インターンシップだとか、地元の企業へ就職して、働いてほしいということやジョブフェアとか書いてあります。山口大学でもジョブフェアをやっています。美祢市は市役所と市内企業1社しか来られませんでした。市内に工業団地もたくさんありますし、ぜひ、こういう機会を利用していただければと思います。おおいにアピールできる場所があると思うので、活用していただければと思っております。

○会長 それでは、次の3番目、人の育成ですね、市の宝となるひとの育成について、ご意見を頂けないでしょうか。

○副会長 資料2の35ページに男女共同参画社会の実現がございます。この審議会も前回の委員の女性割合はずいぶん低かったんですが、今回は21名のうち8名が女性委員と、随分御努力をなさったと思います。ここに目標指標の状況がありますが、平成30年度が20.7%で、令和2年度が22.9%と年1%パーセントぐらいいしか上昇してないわけなんです。審議会によっては、例えば男女共同参画審議会は、圧倒的に女性が多くございます。やっぱり、トータルで目標数値が30%ということですので、ある審議会で、ぐっと女性割合を上げれば、全体的にも少し底上げができるかもしれません。でもやっぱり各審議会で男性の意見、女性の意見が必要ではないかと思うんです。私達の年代は、アンコンシャス・バイアスが非常に影響してるんです。思い込みですね。女はこうあるべきだ、男はこうあるべきだという思い込みがあってですね。私も他人事ならず、私の子供たちにもそういった部分をずいぶん植え付けているのではないかと思うんです。やはり、そうじゃなくって、私たちの年代は、そういったことは言わないような努力を少しずつでもしていかないと、永遠にアンコンシャス・バイアスは続いていくんじゃないかと思ったんです。担当課も、女性の発掘が必要な時期だと思うんです。審議会の委員となれば、いろんな団体のトップの方は男性が多いんですけど、トップでなくてもいい、例えば、副に女性がついておられればその方でもいいし、特化したものをお持ちの方、そういった方をぜひ発掘して頂いて、せめて30%、100%中の30%ですから、絶対多くはないわけなんです。50対50で平等になる、そこまでは言いませんけれど、やはり女性の方にも大いにこの施策に反映させるような形で、審議会を運営していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○会長 非常に重要な御指摘だと思います。美祢市は、市の総合計画に、女性の意見を反映しているということをぜひアピールしていただいて、外から見たときに美祢市って、開けているんだという印象を持ってもらうことは、美祢市の魅力アップにつながると思います。あと、事実として女性の意見をどんどん取り入れることはすごく大事じゃないかと思うので、是非御検討をお願いしたいと思います。

- 事務局 総合計画審議会の女性の委員の割合が増えているというお話がありました。おっしゃるとおり、私どもは意識して増やしています。本市としてそのように取り組むという方針に沿って超えるようにしています。委員の皆様方の御協力があったことですが、私ども行政は意識して取り組んでまいりたいと思いますし、引き続き関係課に周知して、庁内で決まった目標を何とかクリアできるよう取り組んでまいりたいと思います。
- 委員 資料2の34ページの人権啓発活動等ありますが、美祢市は文化度が高くて、講座等を美東、秋芳、美祢と3会場に分けてするんですが、いつもたくさんのお話をありがとうございます。美祢市は教育熱心で、すごく文化に目覚めているな、教育に目覚めているなど、毎回うれしく思っているところありがとうございます。ですから、回数の多少は分かりませんが、どんどんそういう講座を開いていただきたいと思います。コロナ禍にあっても多い状況で、頼もしいことに若い方がすごく受講されています。これは喜ばしいこと、意識が高いなと思っておりまので、ぜひぜひ講座を増やしていただきたいと思います。
- それから関連したことですけど、子供たちに、デジタル化でパソコンを与えたり、いろいろされておりますけど、高齢者のパソコンを修得するような、公民館の活動があればいいなと思っております。今からは、デジタル化になると思いますので、何か自分がしようかなってということ、目的があれば、高齢になっても修得できるんじゃないかなと思いますので、公民館活動の一環として、そういう機会があればいいと思っています。
- 事務局 まず女性の参加者が多いことにつきましては、担当課のほうに伝えて、今後も引き続き参加が増えるように努めさせていただきます。もう1点、公民館活動についてのことですけれど、今年度、国の交付金を使って、公民館にパソコンを整備するような予算を取っています。住民との一番の接点でございますので、そのあたりの支援が公民館でできるいいなと考えておりますし、パソコンを配置していきますので、ぜひ活用するように伝えていきます。
- 委員 パソコンでも、スマホでもよろしゅうございますので。ちょっとした使い方とか、そういうふうな事をされると、随分市のお仕事が減るんじゃないかと思っておりますので、お願いいたします。
- 会長 貴重な御質疑だったと思います。コミュニティスクールを上手に活用されてはいかげなかなと思います。全ての小中学校にはコミュニティスクールがありますので、その中で地域が一緒になって、子供たちに、地域の人たちがいろんなことを教えたりするんです。逆に、子どもたちにスマホの使い方とかを習うというコミュニティスクールの使い方はどうでしょうか。そういう機会を、コミュニティスクールなんかいいチャンスじゃないかなと思いますので、ぜひ検討していただければと思います。
- 会長 それでは、よろしいですかね。それでは次の4番目ですけれども、安全・安心なまちづくり、御意見をいただければと思います。
- 会長 健康診断の受診率、これを上げられたらいいかなと思います。「山口県で一番健康に気を配ってるまち」だとか。山口県は、がんの受診率が全国で1番悪いそうです。それはすごく大事で、やっぱり健康都市ですね、やっぱり田舎ってというのは。高齢者も多いし、こういうところでやっぱりアピールすることが非常に大事なかなと思いますので。
- 事務局 健康についてお話がありましたので、情報提供をさせていただきます。このたび、この新型コロナウイルスのワクチン接種がございました。各市町ワクチン接種を進めておるんですが、本市におきましては、11月15日現在、65歳以上の方の接種率が93.6%、12歳以上の方が87.2%ということで、山口県平均が65歳以上の方92.6%に対して、本市は93.6%。12歳以上の接種率は山口県平均84.4%で、本市が87.2%ということで、市民の方々の意識が高い状況です。健診の受診率はコロナの関係で低かったのかもしれませんが、ワクチン接種に関しましては、市民の方の御理解を得て、県内でも非常に高い割合の状況でございます。

- 副会長 今から申し上げることはどの項目に入るのかははっきりしないので考えてたんですが、結論から言えば、小中学校の女子トイレに生理用のナプキンを置いて欲しいということですが、生理の貧困っていう言葉を御存知ですか。特に父子家庭においては、お父さんに生理用品を買ってほしいということなかなか言えない。そして、他のもので代用してすましている子も結構いるそうです。学校の女子トイレに、ナプキンが置いてあれば、それを利用できるわけです。女性に生まれたがために、そんな難儀な思いをしなきゃいけないっていうことは決して許されないだろうと思うわけです。今、学校の性教育は、男の子と女の子を別々にされているように思うんですけど、やはり性教育も男女一緒にしなきゃいけないわけなんです。なぜなら女の子だけがこそこそと、ナプキンをスカートの中に隠してトイレに行くような状況は、余りにも惨めではないか、それは何か自分が悪いことをしているような気分になってしまうと思うんです。やはり堂々と生理が来たことを喜べるような社会にしていくことが大事なんではないかということで、せめて小中学校の女子トイレにナプキンを置いていただきたい、そういった予算を計上していただくことができれば本当に子ども達も喜ぶだろうと思います。
- 事務局 そのことについては担当課に必ず伝えます。
- 会長 それでは最後に、行財政運営の強化、御意見をいただければと思います。
- 委員 資料2の44ページのことでもいいですか。私、5年前に美祢市に土地を買ったんですけど、土地を買うのに2年間くらいかかって、農業委員会の縛りが結構きつくて、なかなか土地を買えなかったんです。若い人が帰ってきたりとか、土地買いたいとか、家建てるってタイミングがあって、小学校に入った時に建てたいとか、そのタイミングが合わなければもう帰らないで、山口市に土地を買ったという話を聞いたりして。帰ってきてから農業するのも担い手がなくて、畔草刈るのにシルバーに頼もうとかよく聞くので、そういう農業をする人を美祢市に人を呼び込むという、その辺の優遇みたいなことを進めてほしいと思いました。
- 会長 このことは現場の御意見と理解します。私も東京から帰ってきて、実家の草刈が大変です。でも、そういう人たちのために、土地を用意するとか、農業との関係ですけど。少し配慮いただけるといいかなと思います。そういうことの積み重ねが、美祢市に人を呼び寄せることにつながっていくんじゃないかなと思います。ぜひ、御検討いただけるといいかなと思います。
- 事務局 私どもも新規就農者を増やしたい。本市に帰ってきて、荒れ地や荒れそうな土地を、少しでも農業をして使っていただきたいと考えています。そのために、はじめてみ〜ね応援事業という形で、就農者を支援する事業を進めております。いろんな事業のメニューがございまして、これにつきましては、農林課が担当していますので、問い合わせさせていただいて、農業の環境整備につなげていきたいと考えております。ただ、どうしても法律の関係で、すぐにできないこともあるかもしれませんが、それでも、私どもの考えは一人でも多くの方に美祢市に戻ってきていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。
- 委員 先ほどの44ページの関連で一つ。空き家等情報バンク登録物件の成約数というのがございます。郵便局では、空き家の情報登録の関係で、市内の郵便局で空き家バンクの申請をしていただくような形を全国に先駆けて行っております。この成約数が伸びているとおり、郵便局が地域の方に身近ということもありまして、相談件数も多くございます。郵便局から市に情報提供ということで、つなげていつている形なんですけど、まだまだ皆さんの認知度が、少ないのかなと思っております。郵便局とかでも、窓口で努力はしておりますが、例えば市報とか、昨年、周知していただいたと思うんですけど、継続的に周知をしていただいて、県外から美祢市に人口を増やすようなお手伝いできればいいかなと思っております。
- 会長 多分、美祢市に人を呼ぶには、来い来いじゃ駄目で、行ってみようかっていう気にさせることが大事だと思うんです。そのためには、いろんな施策が見える形で、市内だけじゃな

くて、そういった方にも、ちょっと美祢市をあけてみたら、こんな情報があったよっていうふうな形で、見ていただける。そして、ちょっと興味を持ってもらえるような、そういう見せ方が大事じゃないかな。ホームページ入って、1回2回3回クリックしてやっと出てくるようでは多分誰も観てくれないように思います。ぜひよろしくお願ひしたいと申します。

○副会長 第三セクターの統合の問題ですが、25 ページとそれから 59 ページにも書かれていますが、第三セクターの統合、私はちょっと方向付けが違うんじゃないかなという気がして申すんです。確かに、議会の中で一部の議員さん方が、統合したらどうかという意見もあるのは承知しております。しかしながら、この第三セクターというのは、おふくの道の駅を経営している美祢観光開発、それからタケノコの水煮などを生産している美祢農林開発と、全く違うジャンルのものを扱っている会社を統合するというのは、何のための統合なのかちょっとよく分かりません。むしろ、指定管理者制度をもう少し細分化して、それぞれの営業やって稼ぐ場所もあれば、補助金を受けながら資源開発をしていくとか。そうした方向の方が私はいいんじゃないかという気が申すんですが、統合することによって財務負担がよくなるというお考えなのか。私ちょっと違う方向に行きそうな気がしてならないんですが、その辺はどうお考えでしょうか。

○事務局 指定管理者制度、美祢農林開発、あるいは美祢観光開発ということをおっしゃいました。これにつきましては、今、おっしゃられたように、いろんな御意見があります。これにつきましては、今、原課のほうでいろいろ協議をして、どういうふうに進めていくか検討しております。今この場で結論を申し上げることはできませんけれども、ただ、今、財政的なものもありますし、十分なサービス提供ができるかということもありますし、これらの施設には指定管理の期間がございます。これまでと同様でいいかということも見直しながら、この第三セクターの在り方について担当課のほうが一所懸命検討してお申す状況でございます。

○副会長 私が申し上げたいのは、一つは、指定管理制度の細分化。それぞれの指定管理に適用した協定を結ぶような方法を起こしてほしいということが1点。もう一つは、第三セクターを逆に解体したほうがいい。そして、民間を導入されたほうが、民間のノウハウを持っている人たちを入れ込む方がいいんじゃないかと思っております。当初いろいろ間に合わないというんで、第三セクターをつくったと記憶しております。したがって、役割は果たしたと思申すんです。また、今回、何か食堂の赤字が続くからテナントを入れるというような方向に進めておられるので、もう少し、第三セクターそのものの見直し、安易に統合するというんじゃないで見直し、その次に指定管理者制度のもう少し細分化した協定書の作り方、その辺をどうかお聞きしたいと申します。

○事務局 今、おっしゃられたことにつきましては、今すぐ市としてどう考えるかということをお申すすることはできません。

○会長 はい。議事録を残してください。はい、ぜひ御検討お願ひしたいと申します。他によろしいですか。

(3) 令和2年度地方創生推進交付金活用事業の実績について

事務局：資料4について説明

○会長 令和3年度はどういう事業をやられるのか。

○事務局 資料4の2ページの事業のうち、令和2年度から令和3年度に継続していくものは一つです。それ以外には、minetoという公設塾の事業、それから健幸百寿プロジェクト、そして、下関市・長門市・美祢市の3市で行うアウトドア関連事業を取り組むこととしてお申す。

○会長 分かりました。

(4) 第2期美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改正について

事務局：資料5について説明

○会長 これはもう一部変更ですので皆様方の御了承いただければと思いますので、御意見があれば、ぜひ出していただければと思います。

○会長 私からいいですか。DX、デジタルトランスフォーメーションを推進するというところで、その目的としては業務の効率化であったり、いろいろそういうことを目的とされるんですけど。まずは様々な情報をデジタル化する。それぞれのパーツごとにデジタル化する。そしてそれぞれのパーツごとに1回プロセスの中で、そのデジタル化したものを動かしてみる。そこでデジタル化なんです。それから先にデジタルトランスフォーメーションっていうのは、そういうことをやることによって、人的な余裕、人的資源に少し余裕が出てきます。最終目標は全体の最適化なので、そういうことによって出た余力を、本来、行政としてやるべきこと、新しいことをやるためにその力を注ぐ、そちらのほうに回す。そういうことが最終的にはデジタルトランスフォーメーションのゴールだと国の資料にも書いてございます。なので、ただ効率化しただけじゃなくて効率化によって新たにできた人的資源を使って、本来美祢市が、今後新しくこういうことに取り組もうということに人的資源を回す。そこで全体が最適化できる。そこが一番大事だと思います。是非デジタル化をまずはしなきゃいけないんですけど、した後で、例えば、今秋吉台の保全活用に関する委員会等々で議論していますけど、そういった手続をホームページから全部申し込みをすとかして、紙のものはもうやめるとかですね。そうすると、そういったことをやっていた部分が少し空くわけで。その力をやるべきところに回す。今後の喫緊の課題に対してその力をまわすと。それがDXだろうと。大学も今そういうふうに、舵をきろうとしています。大学が将来どうなりたのかというビジョンがないと、これはどうにもならないわけで。ビジョンは基本計画にきちんと書かれていますので、そのためにどういうデジタル化をするか、そのデジタルをしたために生じた新しい人的資源を使って、今度は何を新しくやるかというようなことまで含めて、DXだと思いますので、ぜひ検討いただければと思います。大学にもDXの委員会等ございますので、いろんな意味で御協力できると思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○事務局 本市の取組を簡単に御説明させていただきますと、この4月に新たにデジタル推進課という課を設けました。今おっしゃられたように山口大学の方でも取り組みを進めていらっしゃるんですけども、私ども行政として取り組んでいかなければいけないという意味で、新たにデジタル推進課という課を設けて進めています。

○会長 ぜひ進めていただければと思います。デジタル化することによって、今までやっていた仕事なくなる可能性もあります。このDXを進めようと思ったら相当な覚悟がいるというのを国は盛んに言っています。今までやっていたことが、みんなデジタル化してしまうと、今までそれをやってた人たちの仕事なくなる、そのぐらいの覚悟でやりなさいというのが、国から言われていることです。その代わり市として、今後やらなきゃいけない新しい部分に投資する、注入する、そういう意味で、このDXは非常に重要だと思います。県の方でもデジタル推進本部つくられましたので、ぜひそういう所と一緒にしながら、進めたらいいんじゃないかと思います。とにかく大事なのは人材をつくることです。デジタル人材をとにかく一人でも多くつくって、彼らに頑張ってもらうということが大事だと思います。是非大学にも講座がございましたから、活用されたらいいと思います。

○会長 あともう一つの脱炭素社会に向けた取組の推進ということで、国家プロジェクト、国としてやっぱり進めようということで、行政として何ができるか、個人として何ができるか、

いろんな視点があるかと思しますので、ぜひ、これも着実に進めていただければと思しますのでよろしくお願いします。

○会長 特段ご意見がなければ、この総合戦略の一部改正について、皆様了承されたということによろしいですか。

(5) その他

事務局から今年度の審議会の会議は、今回で終了。来年度も、進捗管理の報告をさせていただき、皆様方の御意見を伺う旨を報告

6 閉会